

## 氷見市（3校）

### チャレンジ10通信

- 朝日丘小学校
- 灘浦小学校
- 明和小学校

学校名	氷見市立朝日丘小学校		
担当教諭	浦 武司 先生 藤坂 賢良 先生	担当推進員	渡辺 光一郎 さん
取組み期間	平成 29 年 7 月 10 日～8 月 6 日	参加児童数	49 人

#### 環境チャレンジ教室（前編）

○日 時 平成 29 年 6 月 27 日（火） 13 : 55～14 : 40

○使用教材

IPCC の動画（南極の氷）

○説明内容など

1. IPCC 『南極の氷』 動画映写
2. 地球温暖化とはなんだ？クイズ 10 問
3. 温暖化対策
4. 環境大臣任命式と取組みの説明

#### 環境チャレンジ教室（後編）

○日 時 平成 29 年 10 月 11 日（水） 13 : 55～14 : 40

○使用教材

IPCC の動画（北極の氷）

○説明内容など

1. 前編のふりかえり
2. 森のはたらき（光合成含む）
3. 夏休みの約束（チャレンジ 10）の内容確認
4. チャレンジ 10 感想、取組み結果
5. 今後どうする
6. 家庭ごみを使ったクラフトの紹介実演（竹トンボ）
7. 北極の氷の動画

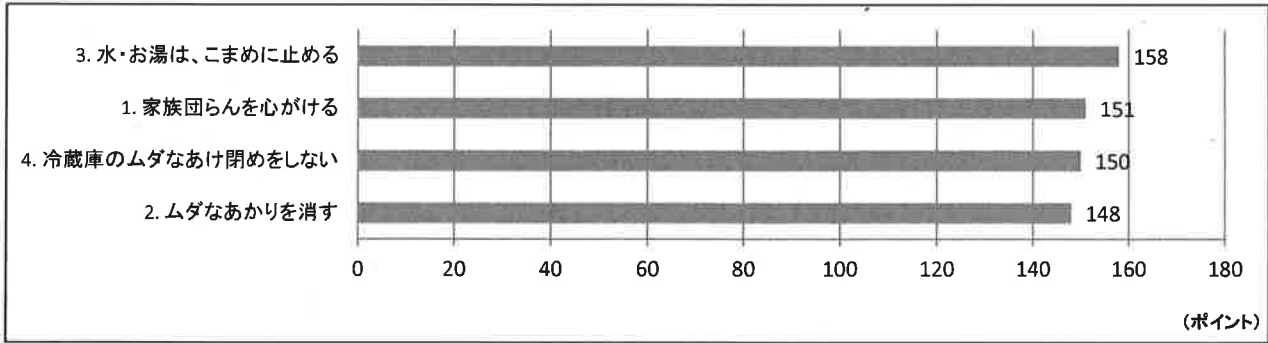
#### 推進員から児童のみなさんへのメッセージ

できることからはじめ、夏も冬もエコを続けよう。

朝日丘 小学校のみなさんへ

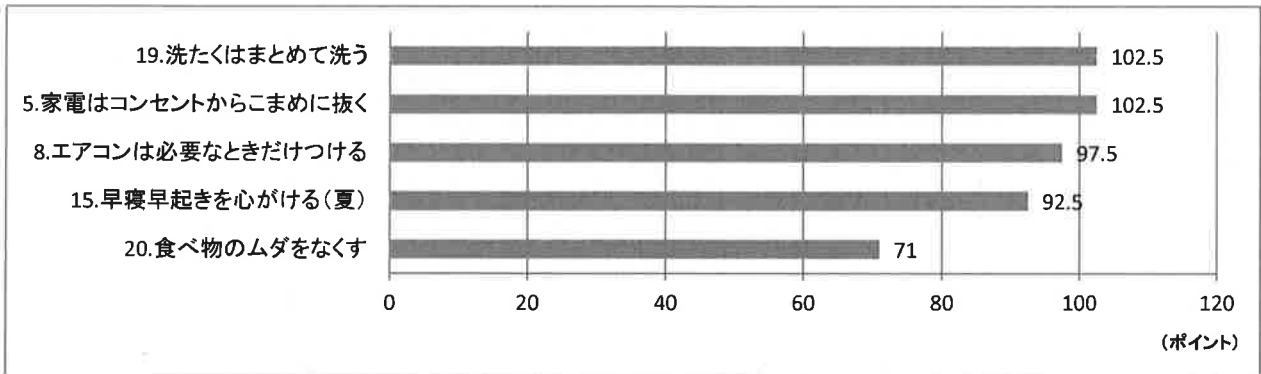
みなさんが、がんばってとりくんだチャレンジ10の結果をまとめましたので、お知らせします。

1. 「**かならずチャレンジ**」ががんばり度ランキング（※ポイント制）



※ポイント制：「よくできた」を1ポイント、「まあまあできた」を0.5ポイント、「できなかった」を0ポイントとして計算

「**えらんでチャレンジ**」ががんばり度ベスト5（ポイント制）



2. みんなでへらした地球をあたためるガス（二酸化炭素）約 1,518 kg

とりくみの効果（目安）



■ サッカーボールで例えると・・・

約 151,812 個分

※サッカーボール1個（体積）は、二酸化炭素約10gに相当。



■ 杉の木で例えると・・・

約 108 本分

※大きく成長した杉の木（50年で高さが20～30m）は1年間で平均して約14kgの二酸化炭素を吸収するとされています。（参考：地球温暖化防止ポータルサイト）



■ 節約できた金額は・・・

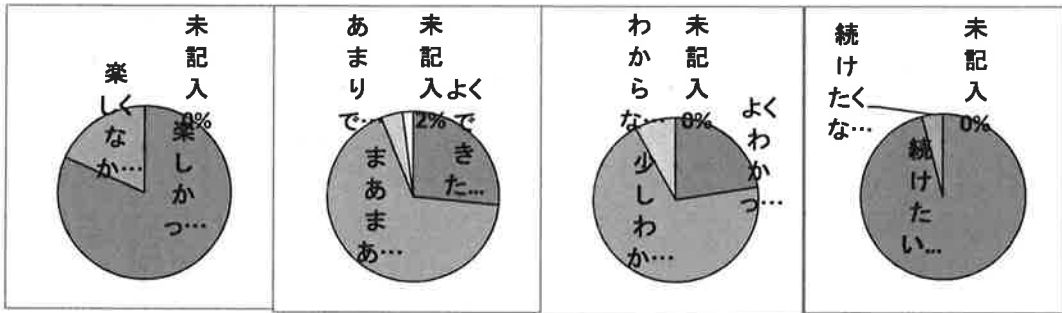
約 89,033 円

3. 工夫したこと、独自のとりくみ

工夫したこと	独自のとりくみ
<ul style="list-style-type: none"> <li>お互いに声をかけあってがんばれたと思います。</li> <li>れいぞうこをあけばなしにしない。</li> <li>みんなが同じ部屋にいるよう声をかけた。</li> <li>すすしい日はエアコンをつけずまどを開けた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみをポイすてしない。</li> <li>水はたくさん出さない。</li> <li>ティッシュのむだづかいをしない。</li> <li>せん風機はタイマーをつける。</li> </ul>

#### 4. ふりかえり

- ①とやま環境チャレンジ10は、楽しかったですか？  
 ②選んだとりくみは、4週間よくできましたか？  
 ③地球温暖化は、どのような問題かわかりましたか？  
 ④これからも地球温暖化を止めるとりくみを続けていきますか？

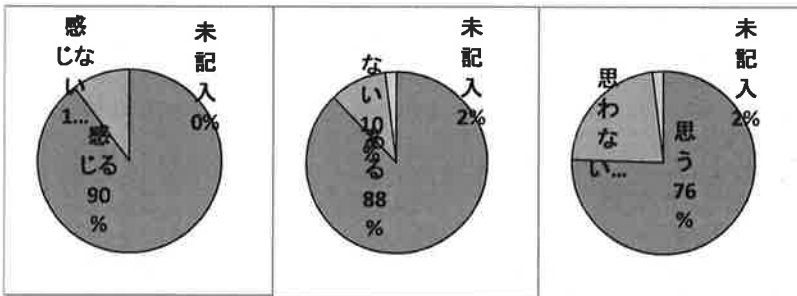


#### 感想やがんばりたいこと

- 大きな自然災害が多いので、これからも環境によいことをしていきたいと思いました。
- 空気よこれについてもっと知りたいと思いました。
- 環境を守ることはとても大切だと思います。ずっととりくんでいきたいと思いました。
- 電気と水をたいせつに使いたい。
- 早寝早起きをがんばりたい。

#### 5. ご家族の方へのアンケート

- ①地球温暖化に対する意識が高まったと思いますか？  
 ②習慣化した取組みがありますか？  
 ③チャレンジ10の取組みにより、家計の節約になったと思いますか？



#### 感想や意見

- 冷蔵庫の開け閉めや人がいない時についている電気について、意識できるようになった。光熱費の節約にもつながり、良かったと思う。
- ふだんから気をつけていますが、子供たちの意識はより高まったと思うのでよとりくみだと思えます。
- 水の出っぱなしや、冷蔵庫をあけたまま飲み物をのんだりすることがなくなりました。
- 子どもに「〇〇した？」と声をかけるようにした。声をかけなくても自らするようになった。
- 子どもたちが、ささいなことでも自分たちのできることに気づけたことはとても良かったと思えます。

これからもチャレンジ10のとりくみをつげましょう！



学校名	氷見市立灘浦小学校		
担当教諭	中谷 亮 先生	担当推進員	佐藤 文敬 さん
取組み期間	平成 29 年 7 月 24 日～8 月 20 日	参加児童数	15 人

#### 環境チャレンジ教室（前編）

○日 時 平成 29 年 7 月 14 日（金） 10 : 15～10 : 55

#### ○使用教材

自作の PPT 資料

#### ○説明内容など

1. 最初に子どもたちに温暖化のことについて知っていることを紙に書き出し、お互い教えあう。
2. PPT 資料を見せながら温暖化で起きていること、その原因、仕組みなどについて説明。
3. 最後にチャレンジ 10 の中から何に取り組むかを子どもたちに選んでもらう。

#### 環境チャレンジ教室（後編）

○日 時 平成 29 年 11 月 21 日（火） 9 : 35～10 : 20

#### ○使用教材

自作の PPT 資料

#### ○説明内容など

1. 夏休みの活動を振り返り、認定証の授与
2. 前期の授業の振り返り（PPT、温暖化の原因、仕組み）
3. 富山県での温暖化の影響に関する動画鑑賞
4. みんなで、「もっとたくさんの方が温暖化防止に取り組んでもらうには？」をテーマに議論・発表

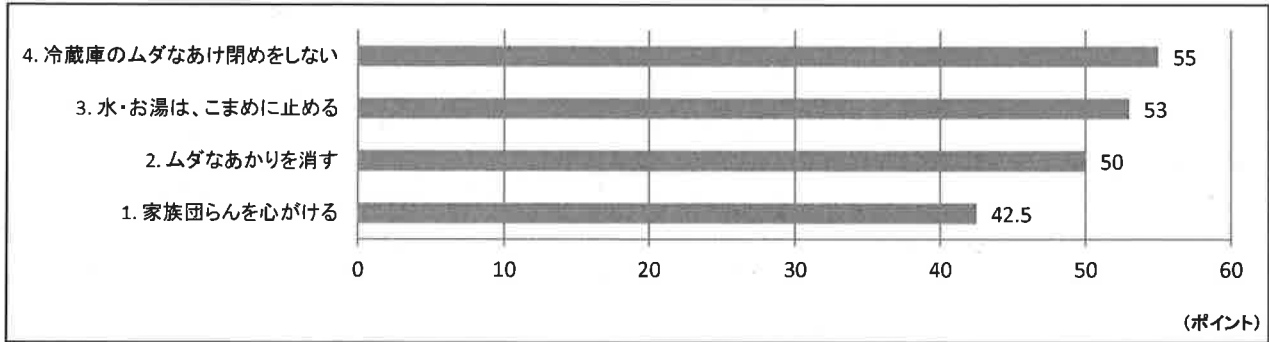
#### 推進員から児童のみなさんへのメッセージ

温暖化防止の鍵となる技術は自然エネルギー発電技術と蓄電技術です。ぜひみんなの中からそうした研究・発明をするような人が出てくることを期待しています。

灘浦 小学校のみなさんへ

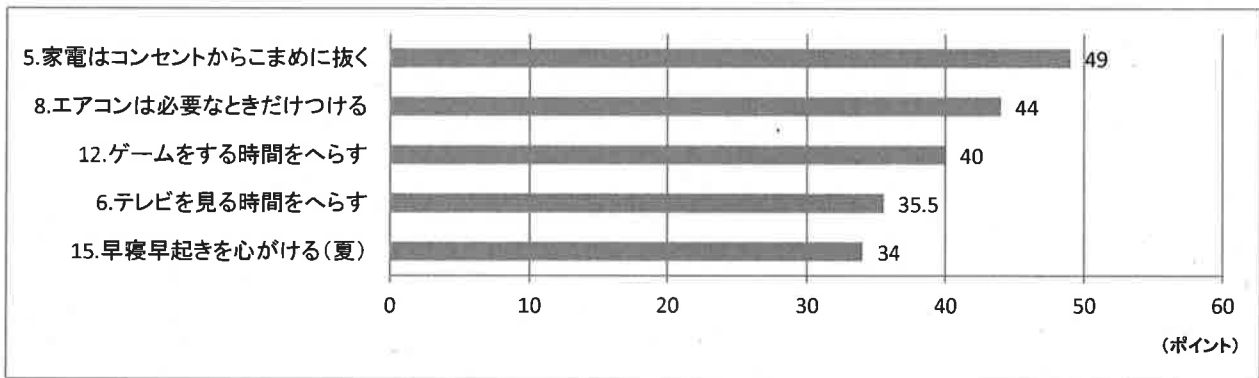
みなさんが、がんばってとりくんだチャレンジ10の結果をまとめましたので、おしらせします。

1. 「かならずチャレンジ」がんばり度ランキング(※ポイント制)



※ポイント制：「よくできた」を1ポイント、「まあまあできた」を0.5ポイント、「できなかった」を0ポイントとして計算

「えらんでチャレンジ」がんばり度ベスト5(ポイント制)



2. みんなでへらした地球をあたためるガス(二酸化炭素) 約 460 kg

とりくみの効果(目安)



■ サッカーボールで例えると・・・

約 46,022 個分

※サッカーボール1個(体積)は、二酸化炭素約10gに相当。



■ 杉の木で例えると・・・

約 33 本分

※大きく成長した杉の木(50年で高さが20~30m)は1年間で平均して約14kgの二酸化炭素を吸収するとされています。(参考：地球温暖化防止ポータルサイト)



■ 節約できた金額は・・・

約 25,137 円

3. 工夫したこと、独自のとりくみ

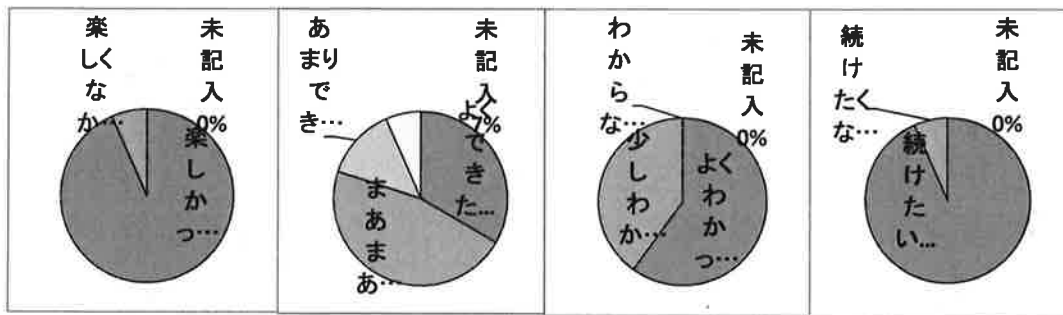
○工夫したこと

- ・電気がついている部屋があったら進んで電気を消しました。
- ・家族団らんを心がけた。
- ・ごはんのときは、テレビを消して食べるように心がけました。
- ・エアコンをかけずに、せんぷうきや外の風をつかうようにした。

など

#### 4. ふりかえり

- ①とやま環境チャレンジ10は、楽しかったですか？  
 ②選んだとりくみは、4週間よくできましたか？  
 ③地球温暖化は、どのような問題わかりましたか？  
 ④地球温暖化は、どのような問題わかりましたか？  
 ⑤これからも地球温暖化を止めるとりくみを続けていきますか？

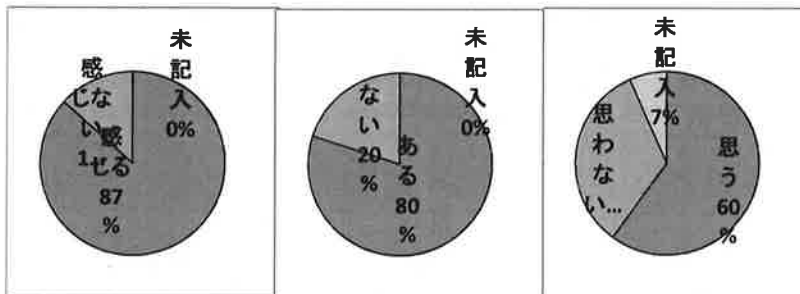


#### 感想やがんばりたいこと

- ・これからもゲームの時間をへらしていきたいです。
- ・これからも、エアコンを使うときだけにしたり、家族団らんをしていきたいです。
- ・これからもとやま環境チャレンジ10をがんばりたいです。
- ・早寝早起きが地球温暖化をふせくことがわかりました。その他に、どんなものがあるかが知りたいです。
- ・これからもコンセントをぬいてCO2をへらしたいです。
- ・野菜の好ききらいなどをしないことをがんばりたい。

#### 5. ご家族の方へのアンケート

- ①地球温暖化に対する意識は高まったと思いますか？  
 ②習慣化した取組みがありますか？  
 ③チャレンジ10の取組みにより、家計の節約になったと思いますか？



#### 感想や意見

- ・子供だけでなく、家族が一緒に取り組んだので良かった。
- ・なるべく外気温と差がないように室内温度を28℃設定にしたり、ムダな明かりをこまめに消したりして「エコ」に気がつけたなと思っています。これからも続けていきたいです。
- ・水の出っぱなしやコンセントの入れっぱなしは努めてやめていかなければいけない、資源は限りあるものだと強く感じました。
- ・とてもいい取り組みだと思います。続ける事が大事だと思うので、家族みんなで続けたいと思います。
- ・家族全員で心がけようとする意識が高まった、よい機会になったと思います。

これからもチャレンジ10のとりくみをつづけましょう！



学校名	氷見市立明和小学校		
担当教諭	川岸 和史 先生 西田 実 先生	担当推進員	橋本 直子 さん
取組み期間	平成 29 年 7 月 24 日～8 月 20 日	参加児童数	15 人

#### 環境チャレンジ教室（前編）

○日 時 平成 29 年 6 月 21 日(水) 13 : 15～14 : 00

○使用教材

配布資料

○説明内容など

- ・ 地球温暖化ってどういうこと
- ・ 地球の特徴
- ・ 他の惑星との違い（空気・生物）
- ・ 空気がないとどうなる（気温）
- ・ 地球温暖化って何
- ・ 地球温暖化を少しでもなくすためにはどうすればよいか
- ・ チャレンジ 10 取組の説明

#### 環境チャレンジ教室（後編）

○日 時 平成 29 年 11 月 24 日(金) 11 : 30～12 : 15

○使用教材

DVD「ようこそ！エネルギー図書館へ」（明和小学校所有）

○説明内容など

- ・ チャレンジ 10 活動の振り返り
- ・ 結果発表（感想）
- ・ DVD「ようこそ！エネルギー図書館へ」視聴
- ・ 今後の地球温暖化防止活動について（任命式）
- ・ 食品ロス

#### 推進員から児童のみなさんへのメッセージ

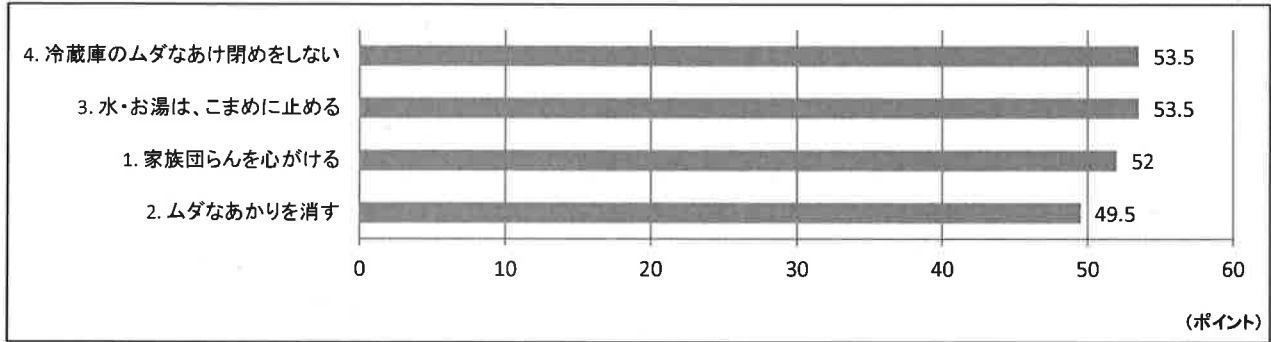
一つ一つは少しのことでも沢山の人がこつこつ積み重ねれば大きな力となると感じることが出来たと思います。これからも少しずつでもチャレンジして行って下さい。



明和 小学校のみなさんへ

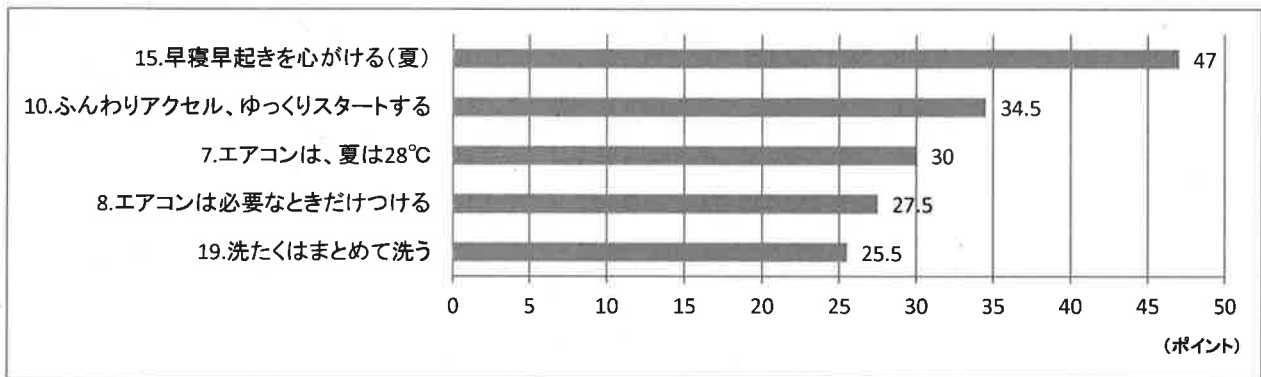
みなさんが、がんばってとりくんだチャレンジ10の結果をまとめましたので、お知らせします。

1. 「かならずチャレンジ」がんばり度ランキング(※ポイント制)



※ポイント制：「よくできた」を1ポイント、「まあまあできた」を0.5ポイント、「できなかった」を0ポイントとして計算

「えらんでチャレンジ」がんばり度ベスト5(ポイント制)



2. みんなでへらした地球をあたためるガス(二酸化炭素) 約 610 kg

とりくみの効果(目安)



■ サッカーボールで例えると・・・

約 60,993 個分

※サッカーボール1個(体積)は、二酸化炭素約10gに相当。



■ 杉の木で例えると・・・

約 44 本分

※大きく成長した杉の木(50年で高さが20~30m)は1年間で平均して約14kgの二酸化炭素を吸収するとされています。(参考：地球温暖化防止ポータルサイト)



■ 節約できた金額は・・・

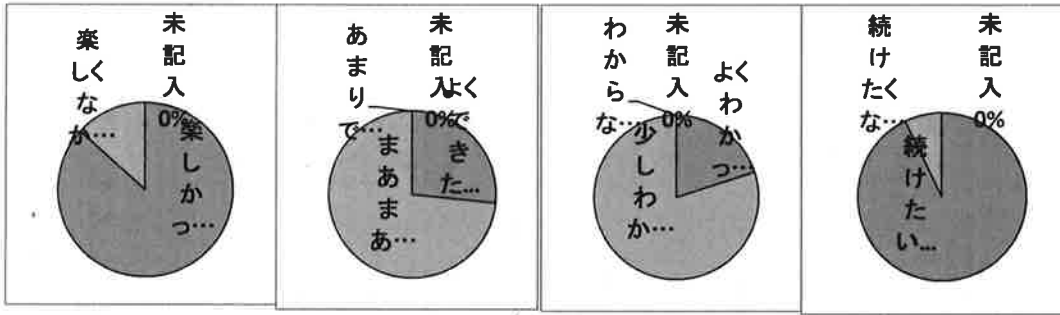
約 35,532 円

3. 工夫したこと、独自のとりくみ

工夫したこと	独自のとりくみ
<ul style="list-style-type: none"> <li>エアコンの温度設定を確認しあった。</li> <li>テレビを見る時間を決める。</li> <li>リーダーが声をかけるようにした。</li> <li>家族みんなでとりくんで、1人1人が気をつける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家で作った野菜を食べる。</li> </ul>
など	など

#### 4. ふりかえり

- ①とやま環境チャレンジ10は、楽しかったですか？  
 ②選んだとりくみは、よくできましたか？  
 ③地球温暖化は、どのような問題わかりましたか？  
 ④地球温暖化は、どのような問題わかりましたか？  
 ⑤これからも地球温暖化を止めるとりくみを続けていきますか？

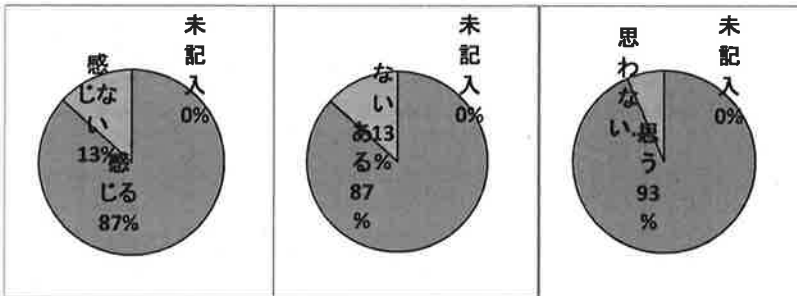


#### 感想やがんばりたいこと

- ・これからも地球温暖化を止めるとりくみをつづけたら、地球温暖化を止められるかしりたい。
- ・これからも地球温暖化をへらすことをがんばりたい。
- ・これからも早寝早起きをがんばりたいです。

#### 5. ご家族の方へのアンケート

- ①地球温暖化に対する意識は高まったと思いますか？  
 ②習慣化した取組みがありますか？  
 ③チャレンジ10の取組みにより、家計の節約になったと思いますか？



#### 感想や意見

- ・子供の意識が高まったと思う。これからも続けていきたいです。
- ・チャレンジ10の取り組みにもっと積極的に家族も取り組めば良い結果が出たと思います。これからも、地球温暖化防止に対する意識を高め、取り組むことが大事だと思いました。
- ・夏だったので、ひるまは外であそんで、たくさんつかれて早寝、早起きがふつうにできた。
- ・各自の取り組みが実行できるように、互いに声をかけ合って生活するよう心がけた。
- ・エアコンを使うことが少なかった。家族での団らんも十分にできたと思う。

これからもチャレンジ10のとりくみをつづけましょう！

